

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年11月7日

**【四半期会計期間】** 第81期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 塩水港精糖株式会社

**【英訳名】** Ensuiiko Sugar Refining Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 浅倉 三男

**【本店の所在の場所】** 東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号

**【電話番号】** 東京(03)3249局2381(代表)

**【事務連絡者氏名】** 専務取締役管理グループ長 安戸 久仁彦

**【最寄りの連絡場所】** 東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号

**【電話番号】** 東京(03)3249局2381(代表)

**【事務連絡者氏名】** 専務取締役管理グループ長 安戸 久仁彦

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第80期 第2四半期 連結累計期間	第81期 第2四半期 連結累計期間	第80期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	14,584	13,593	28,258
経常利益	(百万円)	249	298	419
四半期(当期)純利益	(百万円)	121	150	73
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	20	311	660
純資産額	(百万円)	5,674	6,490	6,313
総資産額	(百万円)	26,058	25,921	26,194
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	4.53	5.62	2.73
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	21.8	25.0	24.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	240	68	1,364
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	225	116	447
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	9	204	821
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	1,302	1,169	1,414

回次		第80期 第2四半期 連結会計期間	第81期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	3.76	2.02

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の財政問題や欧州の債務問題等のリスクが懸念されるものの、デフレからの早期脱却と経済成長を目指す政府の経済・財政政策や日銀による金融緩和に起因する円安進行などに伴い、輸出は持ち直し、消費マインドも改善するなど、個人消費・景気ともに緩やかに回復しつつあります。

このような状況の中、当社グループは高品質で安心、安全な製品の安定供給を第一義とし、顧客満足度を一層高め、価格競争力の一層の向上に努めるとともに、改めて平成25年度を初年度とする中期3カ年経営計画を策定し、その計画達成に向け全力で取り組んで参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,593百万円（前年同四半期比6.8%減）、営業利益は371百万円（前年同四半期比28.1%増）、経常利益は298百万円（前年同四半期比19.4%増）、四半期純利益は150百万円（前年同四半期比24.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 砂糖事業

##### ・国内精糖

販売数量につきましては、7～8月は記録的な猛暑であったものの、業務用の販売が振るわず、前年同四半期を下回りました。売上高につきましては、販売数量の減少により前年同四半期を下回りました。

##### ・その他糖類

異性化糖などの国内販売については、堅調な荷動きとなりましたが、為替リスク等の軽減を図るため、粗糖の三国間貿易等の海外事業を縮小した結果、売上高は減少いたしました。

期中の海外原糖市況は、期初17.69セント〔ニューヨーク市場粗糖先物相場（期近限月の引け値、1ポンド当たり。）以下同じ。〕で始まり、4月中旬には18.03セントの高値をつけました。しかし、主要生産国ブラジルの天候が順調であったことから反落に転じ、さらにブラジル通貨レアルの下落等の材料もあり、7月中旬には16.00セントの安値をつけました。その後、投機筋を中心とした買いが入り17セント台に値を戻し、17.48セントで当期を終了しました。

期中の国内市中価格〔東京市場現物相場（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり。）〕は、期を通じて182円～183円で推移しました。

この結果、売上高は12,522百万円（前年同四半期比6.8%減）、セグメント利益は816百万円（前年同四半期比16.6%増）となりました。

## バイオ事業

### ・オリゴ糖

家庭用「オリゴのおかげ」は、引き続き商品価値の啓蒙と、正しい使い方などの理解普及に努めるとともに、量販店を中心に店頭販促に取り組み、一定の成果を上げました。

業務用は、新規採用に向けた営業に努めました。

### ・サイクロデキストリン（CDと略称。）

飲料、健康食品などの食品分野のほか、非食品分野へのCD拡販に努めましたものの、練り製品及び非食品分野における既存ユーザー取り扱いの縮小等により、販売数量の減少を余儀なくされました。

以上から、当第2四半期連結累計期間は、CD部門における販売数量が減少したことにより、バイオ事業全体の売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は682百万円（前年同四半期比11.8%減）、セグメント利益は58百万円（前年同四半期比47.9%減）となりました。

## 不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備の賃貸、ニューESRビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました。

この結果、売上高は429百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比55.1%減）となりました。

研究開発につきましては、肝機能改善などの機能を有するグルクロン酸の新規工業的生産技術のノウハウにつき、継続して第三者への貸与等に努める一方、バイオプラスチック原料となり得るグルカル酸の工業的製造法を確立後、グルカル酸の利用に関する応用研究に取り組みました。また、抗がん剤「糖修飾パクリタキセル」をリポソームに包み込み、副作用を大幅に軽減し得る「がんミサイル療法」に関しましては、引き続き共同研究開発を進め、4月には米国ワシントン市で開催された米国がん学会で研究成果を発表しました。

また、米粉を原料とした乳化機能を有する食品素材の開発につきましては、低コスト・大量生産技術による製法の実用性評価を行いました。引き続き、商品化に向け鋭意取り組んで参ります。

バイオ製品（オリゴ糖、CDなど）の研究開発につきましては、一層の製造コストの低減と品質の向上に取り組むとともに、新たな機能の開発と探索に努めました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べて245百万円減少し、1,169百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、68百万円（前年同四半期比172百万円の減少）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益293百万円、減価償却費360百万円、売上債権の増減額300百万円等による資金の増加があった一方で、たな卸資産の増減額482百万円、仕入債務の増減額298百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、116百万円（前年同四半期は225百万円の資金支出）となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入98百万円等による資金の増加があった一方で、有形固定資産の取得による支出169百万円、貸付金による純支出40百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、204百万円（前年同四半期は9百万円の資金支出）となりました。

これは主に、配当金の支払134百万円による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対応すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の総額は、69百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	35,000,000	35,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数は100株
計	35,000,000	35,000,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		35,000		1,750		345

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	平成25年9月30日現在	
		所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目3-1	8,400	24.00
塩水港精糖株式会社	東京都中央区日本橋堀留町2丁目9-6	7,890	22.54
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1丁目3-3	1,354	3.87
CREDIT SUISSE (LUXEMBOURG) S.A. ON BEHALF OF CLIENTS (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	56,GRAND RUE L-1660 LUXEMBOURG (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	700	2.00
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目4-5	603	1.72
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2丁目5-2	550	1.57
大東通商株式会社	東京都新宿区市谷台町6丁目3	500	1.43
南西糖業株式会社	東京都千代田区岩本町3丁目2-9	500	1.43
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2-10	375	1.07
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目2-1	340	0.97
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1丁目26-1	340	0.97
計		21,553	61.58

(注) 南西糖業株式会社が所有している上記株式については、会社法施行規則第67条の規定により議決権の行使が制限されております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,890,500		権利内容になんら権限のない 当社における標準となる株式
	(相互保有株式) 普通株式 500,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,604,400	266,044	
単元未満株式	普通株式 5,100		
発行済株式総数	35,000,000		
総株主の議決権		266,044	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式84株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 塩水港精糖株式会社	東京都中央区日本橋 堀留町2丁目9-6	7,890,500	-	7,890,500	22.54
(相互保有株式) 南西糖業株式会社	東京都千代田区岩本町 3丁目2-9	500,000	-	500,000	1.43
計		8,390,500	-	8,390,500	23.97

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,414	1,169
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 1,879	1,578
商品及び製品	971	1,407
仕掛品	256	191
原材料及び貯蔵品	1,249	1,359
繰延税金資産	65	68
その他	1,127	1,128
流動資産合計	6,964	6,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,582	9,608
減価償却累計額	5,062	5,196
建物及び構築物(純額)	4,520	4,412
機械装置及び運搬具	11,166	11,136
減価償却累計額	9,405	9,486
機械装置及び運搬具(純額)	1,761	1,649
工具、器具及び備品	398	402
減価償却累計額	349	359
工具、器具及び備品(純額)	49	43
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	14	85
有形固定資産合計	11,580	11,425
無形固定資産		
ソフトウェア	62	78
ソフトウェア仮勘定	32	1
その他	7	6
無形固定資産合計	102	86
投資その他の資産		
投資有価証券	5,147	5,185
長期貸付金	1,335	1,375
繰延税金資産	982	856
その他	109	102
貸倒引当金	27	13
投資その他の資産合計	7,546	7,505
固定資産合計	19,230	19,017
資産合計	26,194	25,921

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,382	1,083
短期借入金	9,181	10,876
未払法人税等	54	100
未払消費税等	56	108
賞与引当金	79	82
その他	1,027	954
流動負債合計	11,780	13,205
固定負債		
長期借入金	6,411	4,646
退職給付引当金	1,144	1,082
その他	544	496
固定負債合計	8,099	6,225
負債合計	19,880	19,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	266	266
利益剰余金	7,798	7,813
自己株式	3,117	3,117
株主資本合計	6,697	6,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	367	207
繰延ヘッジ損益	16	15
その他の包括利益累計額合計	384	223
純資産合計	6,313	6,490
負債純資産合計	26,194	25,921

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	14,584	13,593
売上原価	12,479	11,434
売上総利益	2,104	2,159
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 1,813	<sup>1</sup> 1,787
営業利益	290	371
営業外収益		
受取利息	22	20
受取配当金	53	55
デリバティブ利益	20	-
雑収入	16	6
営業外収益合計	114	82
営業外費用		
支払利息	80	68
持分法による投資損失	52	81
支払手数料	21	3
雑損失	0	3
営業外費用合計	154	156
経常利益	249	298
特別利益		
投資有価証券売却益	15	10
特別利益合計	15	10
特別損失		
投資有価証券売却損	3	15
投資有価証券評価損	19	-
その他	4	-
特別損失合計	27	15
税金等調整前四半期純利益	237	293
法人税、住民税及び事業税	82	100
法人税等調整額	34	42
法人税等合計	116	143
少数株主損益調整前四半期純利益	121	150
四半期純利益	121	150

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	121	150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	146
繰延ヘッジ損益	6	0
持分法適用会社に対する持分相当額	6	13
その他の包括利益合計	100	161
四半期包括利益	20	311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20	311
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	237	293
減価償却費	362	360
退職給付引当金の増減額（は減少）	49	61
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	252	-
賞与引当金の増減額（は減少）	1	3
貸倒引当金の増減額（は減少）	0	14
受取利息及び受取配当金	76	76
支払利息	80	68
支払手数料	21	3
為替差損益（は益）	7	7
持分法による投資損益（は益）	52	81
投資有価証券売却損益（は益）	11	4
投資有価証券評価損益（は益）	19	-
投資その他の資産評価損	4	-
売上債権の増減額（は増加）	1	300
たな卸資産の増減額（は増加）	83	482
その他の資産の増減額（は増加）	61	30
仕入債務の増減額（は減少）	99	298
未払消費税等の増減額（は減少）	41	51
その他の負債の増減額（は減少）	241	126
小計	639	130
利息及び配当金の受取額	76	72
利息の支払額	77	84
法人税等の支払額	421	57
法人税等の還付額	23	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	240	68
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	222	169
無形固定資産の取得による支出	-	12
投資有価証券の売却による収入	84	98
投資その他の資産の増減額（は増加）	24	7
貸付けによる支出	540	510
貸付金の回収による収入	427	469
投資活動によるキャッシュ・フロー	225	116
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	1,846	1,500
長期借入金の返済による支出	1,721	1,569
配当金の支払額	135	134
財務活動によるキャッシュ・フロー	9	204

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	7
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2	245
現金及び現金同等物の期首残高	1,304	1,414
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 1,302	<sup>1</sup> 1,169

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
太平洋製糖(株)	530百万円	太平洋製糖(株)	453百万円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	5百万円	- 百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
製品保管輸送費	450百万円	452百万円
販売促進奨励金	316百万円	315百万円
給料手当賞与金	276百万円	283百万円
賞与引当繰入額	63百万円	62百万円
退職給付費用	30百万円	27百万円
役員退職慰労引当金繰入額	61百万円	- 百万円



(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金	1,302百万円	1,169百万円
現金及び現金同等物	1,302百万円	1,169百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	135	5.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	135	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,422	760	401	14,584	-	14,584
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9	13	16	39	39	-
計	13,432	773	418	14,623	39	14,584
セグメント利益	699	112	51	863	573	290

(注) 1. セグメント利益の調整額 573百万円には、セグメント間取引消去 6百万円、各報告セグメントに配分して  
 いない全社費用 567百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理  
 費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,512	668	413	13,593	-	13,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	13	16	40	40	-
計	12,522	682	429	13,634	40	13,593
セグメント利益	816	58	23	898	526	371

(注) 1. セグメント利益の調整額 526百万円には、セグメント間取引消去 9百万円、各報告セグメントに配分して  
 いない全社費用 517百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理  
 費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4円53銭	5円62銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	121	150
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	121	150
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,860	26,859

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

塩水港精糖株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	出	口	賢	二	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齊	藤	直	人	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山	口	俊	夫	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている塩水港精糖株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、塩水港精糖株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。